

Palm簿記

(決定版簿記 forPalm Ver0.6)

yamada_masaru@yahoo.co.jp

2002/12/07

M. Yamada

	目次	(処理件数 : 1000取引 科目数 : 90)
概要		基本画面
なにができるの?		仕訳帳入力
基本的な使い方		試算表
インストール		元帳
勘定科目登録		簿記記帳について

概要 なにができるの?

ポケットに入る会計ソフトです。スモールビジネス、家計簿、小遣い帳に使えます。この手のソフトは、簡単に利用できるようにと現金出納帳形式や独自に工夫をした入力方法を採用しています。しかし、帳簿の構造や使い方を新たに覚えなければならないので、かえって使いづらいのではないのでしょうか？そこで、複式簿記で処理をしようというのがこのソフトの考え方です。

したがって、一応、複式簿記のごく基礎的な知識が必要です。

基本的な使い方

仕訳帳に「日付、借方、貸方、金額、摘要」を入力します。その後は、試算表で各勘定科目の残高を確認し、必要があれば試算表画面から科目を選択して元帳を表示します。

勘定科目の設定は、ユーザーでも可能です。データの年度更新の機能は有りません。

インストール



ダウンロードファイルを解凍すると、bkpalm.prc と kamokuset.prc NSBRuntime.prc の三つのファイルが出てきます。(この他に bkdata と kmkmst の2つのデータも同梱されていますが、これは、「使用例&練習」用のサンプルデータですので、必要な場合のみインストールします。)これをインストールすると、図のようにランチャーに2つのアイコンが追加されます。

勘定科目の設定

インストール後必ず1回は起動してください

まず、kamokuset を起動します。これでサンプルの科目がセットされます。インストールしたら、必ず、一度起動させる必要があります。

同時に、勘定科目を修正登録できます。

勘定科目設定の約束

仕訳入力では、意識する必要はありませんが、内部処理として、勘定科目には数字2桁のコード番号が付きます。コード番号は、11から始まり99までです。

勘定科目の配列は、貸借対照表科目から始まり、次に損益計算書科目が続くようにします。

パソコン版簿記とデータの連係を考慮するなら、パソコン版と同じにしておきます。

貸借対照表勘定の配列の最後のコード番号を「BS上限」として入力する必要があります。標準では40になっています。

科目名	コード	科目名	コード
現金		未払金	
預金1	22	借金	
預金2	貸付金		33
預金3	24		34
立替	25		35
貸付金	26		36
回効券	27		37
ハイ力	28		38
19	28	資本金	
20	30		40

1) 科目のセット

科目登録画面では、1画面に30科目の科目名が表示されます。登録済みの科目名が画面上のボタンに表示されています。番号が表示されているボタンには、科目名が登録されていません。そのボタンの番号は、科目コードを示しています。

新規登録、あるいは科目名を修正する場合は、登録するコード番号に対応したボタンをクリックします。すると、現在表示の科目名又はコード番号が画面左下の入力欄に表示されます。ここへ科目名を入力し、(セット)ボタンを押すと、クリックしたボタンに反映します。

この要領で、修正、登録したい科目をセットし、最後に(登録)ボタンを押して、勘定科目ファイルに登録します。(登録)ボタンを押さずに、終了(ホームをタップしてランチャー画面に戻る)すると、今、設定していた科目名はキャンセルされ、ファイルへは登録されません。ただし、この場合でも、システムが最初に設定した科目ファイルは作成されていますので、簿記ソフトを利用することが可能となります。

kamokuset を実行せずに簿記ソフトを起動すると、勘定科目ファイルが存在しないため、エラーとなります。

2) 画面の移動

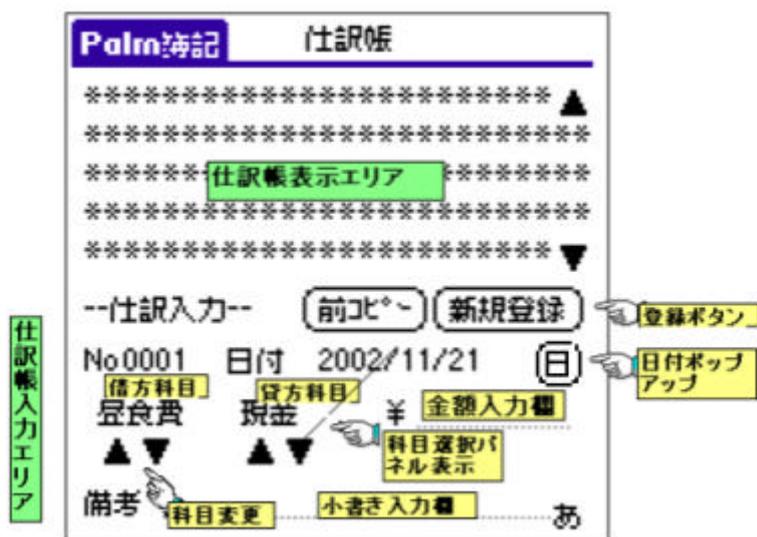
ボタンを押します。

3) BS上限

貸借対照表科目の最後のコード番号を設定します。

基本画面

基本画面 仕訳帳入力画面の説明



bkpalm をタップしてソフトを起動させると仕訳帳入力画面が表示されます。

仕訳帳入力画面が本ソフトの基本画面です。

図1-1がイントール直後に起動した画面です。つまり、データが0件の状態です。

仕訳入力

1) 仕訳帳入力画面は、仕訳データ表示エリアと入力エリアに分かれています。

画面上部が仕訳データ表示エリアで、入力済みデータを5件分表示させることができ、そのデータをタップすることにより、そのデータを入力エリアに読み込み、訂正することができます。表示エリアは、スクロールさせることができます。

2) 仕訳入力エリアでは、取引番号(連番で、システムが自動的に設定)、日付、借方科目、貸方科目、金額、摘要(小書き入力用)を入力します。

3) 日付

日付表示欄は、システムのカレンダーの「今日」の日付を表示しています。日付を変更するには、日付表示欄横の(?)ボタンを押し、日付入力のポップアップを表示させて行います。

4) 勘定科目

借方科目、貸方科目の順に表示されています。勘定科目は、科目コード順に、セットされていますので、順繰りに表示科目を変更するには、(?)ボタンを押し、科目一覧表パネルを表示させ、ここから選択することにより、目的の科目を選択することができます。

5) 金額

簿記の教科書では、借方金額、貸方金額の2つを記入することになっていますが、このソフトでは、金額入力は1カ所です。したがって、金額入力のチェック機能はありません。

6) 摘要 取引の覚えをメモしておきます。

7) 登録

(新規登録) ボタンを押すと、正式に仕訳データとしてデータベースに記録され、表示エリアに表示されます。

8) 仕訳データの訂正

The screenshot shows the 'Palm簿記 仕訳帳' (Palm Accounting Ledger) interface. It features a list of transactions with columns for date, description, and amount. The selected transaction is '07 11 21 交通費 現金 2100'. Below the list, there are buttons for '取消' (Cancel) and '訂正登録' (Correct Register). The detailed view shows the transaction details: 'No0006 日付 2002/01/01', '外食費 現金 ¥5600', and a memo '備考 デニース'.

年月日	摘要	金額	方向
03 01 01	預金2 期首有	300	▲
04 01 01	期首有 資本金	2050	
05 01 01	交際費 現金	3000	▼
06 01 01	外食費 現金	5600	▼
07 11 21	交通費 現金	2100	▼

--仕訳入力-- [取消] [訂正登録]

No0006 日付 2002/01/01 [E]

外食費 現金 ¥5600

備考 デニース あ

入力済みの仕訳データの訂正は、訂正したいデータを表示エリアに表示させ、タップします。すると、入力エリアに訂正データが表示されますので、これを訂正します。

(訂正登録) ボタンを押すと訂正が完了します。訂正を注しするには、(取消) ボタンを押します。すると、入力エリアは、新規登録の状態に戻ります。

9) 検索

金額又は備考に検索キーをセットして画面右上の(検索) ボタンを押します。検索ヒットすると入力欄にその仕訳データが表示されます。続いて同じ条件で検索を続行する場合は、再度(検索) ボタンを押します。検索途中で、検索を中断するには、(取消) ボタンを押します。

検索キーは、金額は完全一致、備考は単語の一部が含まれればヒットします。

金額と備考の両方にキーが設定された場合、AND検索となります。

試算表

1) 基本操作

画面		メモ帳へ出力	
仕訳帳	期首有	300	▲
試算表	資本金	2050	
元帳	現金	3000	
06 0101 外食費	現金	5600	
07 1121 交通費	現金	2100	▼
--仕訳入力--			
		取消	訂正登録
No0006	日付	2002/01/01	☒
外食費	現金	¥5600	
▲▼	▲▼		
備考	デニース		あ

基本画面でメニューを表示させ、「試算表」を選択します。

試算表		▼ 全期間	(Ex)
借方残高	科目	貸方残高	
13186 (48)	書籍費	0	▲
18640 (49)	教養娯楽	0	
7657 (50)	交際費	0	
4989 (52)	衣服費	0	
480 (55)	雑費	0	
8485 (56)	他支出	0	
0 (61)	小遣収入	60000	
0 (63)	雑収入	23600	
152,346	合計	152,346	
当期純損失 21,450			戻る

上記のように、残高試算表が表示されます。

2) 期間集計

月次の試算表（期間発生高）を作成できます。

試算表		▼ 全期間	(Ex)
借方残高	2003/01	2002/12	貸方残高
13186 (48)	2002/11	0	▲
18640 (49)	教養娯楽	0	
7657 (50)	交際費	0	
4989 (52)	衣服費	0	
480 (55)	雑費	0	
8485 (56)	他支出	0	
0 (61)	小遣収入	60000	
0 (63)	雑収入	23600	
152,346	合計	152,346	
当期純損失 21,450			戻る

試算表		▼ 2003/01	(Ex)
借方合計	科目	貸合計高	
5000 (11)	現金	9503	
5960 (15)	立替	5000	
460 (41)	交通費	0	
0 (43)	通勤費	460	
818 (45)	外食費	0	
2725 (56)	他支出	0	
14,963	合計	14,963	
当期純損失 3,543			戻る

元帳

元帳	現金
01 0101 期首有高	50000 *****
05 0101 交際費	***** 3000
06 0101 外食費	***** 5600
07 1121 交通費	***** 2100

(借) 39,30	50,000 10,700
デニース	<input type="button" value="戻る"/>

試算表画面をタップすると、タップした科目の元帳が表示されます。

試算表から元帳が開かれた場合は、(戻る) ボタンで、試算表に戻れます。

仕訳帳からメニュー選択で開かれた場合は、仕訳帳に戻ります。また、この場合、画面左上の(?) ボタンを押すと勘定科目選択画面が開きますので、ここで作成したい元帳科目を選択して元帳を作成することができます。

試算表から元帳を表示させた場合は、試算表画面で設定した集計月の取引を表示させることができます。

簿記記帳について

1. 仕訳入力

簿記の教科書では、仕訳は

(借方) 現金 1000円 / (貸方) 売上げ 1000円

と記帳することになっているが、この簿記ソフトでは

借方科目 貸方科目 金額 の順に入力し、金額の入力は1カ所である。

2. 開始記入

期首の有高を仕訳入力画面で行います。

例えば、「(借) 現金 50,000円 / (貸) 期首有高 50,000円」を仕訳入力画面で

現金 期首有高 50,000円 とします。

この要領で、他の資産、負債の科目についても入力し、最後に

期首有高 資本金 円 を入力して、貸借をバランスさせます。

次に、開始 B/S を表示させて、バランスを確認する。

3. 複合仕訳

複合仕訳が必要な場合は、「諸口」を使う。

(例)

諸口 預金 5500円

書籍費 諸口 5000円

送料 諸口 500円

通常は、
書籍費 預金 5000円
送料 預金 500円 とした方が簡単ですが。

使用例 & 練習 (この例は、同梱の bkdata をインストールすると見ることができます)

小遣帳に利用する例で操作法の練習をしましょう。

1 自分用の勘定科目を設定する

kamokuset をタップして、勘定科目を確認します。

このままでよいというのであれば、〔登録〕ボタンを押します。

(1) 不要科目の削除

仕訳入力の際、「科目一覧選択パネル」から科目を選択するには、勘定科目が28以内であると、1画面から選択でき便利である。したがって、不要な科目を削除することにします。

「回数券」は、私の場合不要なので、〔回数券〕をタップし、画面したの入力エリアに「回数券」を表示させ、バックスペースで「回数券」をクリア（空白で置き換えるのではなく）する。〔セット〕ボタンを押すと削除されます。最後に〔登録〕を押して科目ファイルに登録します。（登録ボタンを押すまでは、画面上に表示されるだけで、科目ファイルには登録されません。）

(2) 必要科目の登録

クレジットカードでの購入も管理したいのでカード名を負債科目として登録することにします。

科目コードの30にクレジットカードのセゾンカードを登録することにします。

パネルの〔30〕をタップし、入力エリアに「セゾン」と入力し、〔セット〕ボタンをタップします。

ハイカ	28	38
19	28	資本金
20	セゾン	40
セゾン	登録	セット

このように、パネルに反映します。最後に〔登録〕をタップして科目ファイルに登録します。

2 記入の開始

期首（超個人的な小遣帳なのでいつでも良いが）の現金預金、借金の額を整理して入力します。この作業をすっ飛ばしてもいいのですが、これをやらないと、財布や通帳の残額が分かりません。お金の出入りだけを管理するなら特に必要ありません。

ということで、2003年1月1日の私の財産は、

現金	25,000円
預金1	78,000円
預金2	127,000円
クレジットの未引落とし分	8,800円

でした。

これを「仕訳入力エリア」から入力します。

〔日〕ボタンをタップして、期首の日付（2003年1月1日）をセットして、期首有高の仕訳を入力します。

--仕訳入力--		前北°-	新規登録
No0001	日付	2003/01/01	〔日〕
現金	期首有高	¥25000	
▲▼	▲▼		
備考			あ

現金	期首有高	25000
預金1	期首有高	78000
預金2	期首有高	127000
期首有高	セゾン	8800

と入力します。

最後に

資本金	期首有高	221200
-----	------	--------

注)「資本金」の額は、資産合計額から負債額を差し引いて計算します。

$$(25000+78000+127000-8800=221200)$$

開始B/S		(Ex)
借方	科目	貸方
25000	(11)現金	0
78000	(12)預金1	0
127000	(13)預金2	0
0	(30)セゾン	8800
0	(39)資本金	221200
230,000	合計	230,000

戻る

メニューから〔開始 B/S〕を選択して開始仕訳に誤りがないことを確かめます。

借方合計額と貸方合計額が同じならOKです。もし、違っていれば「資本金」の算出に誤りがありますので、資本金を正しく計算し、仕訳画面から訂正します。

3 毎日の記入

Palm簿記 仕訳帳 (検索)			
00	日付	借方	貸方 金額
01	0101	現金 期首有	25,000
02	0101	預金1 期首有	78,000
03	0101	預金2 期首有	127,000
04	0101	期首有 セゾン	8,800
05	0101	期首有 資本金	221,200

--仕訳入力-- (前北°-) (新規登録)			
No0006	日付	2003/02/08	(日)
昼食費	現金	¥	
▲▼	▲▼		
備考			

開始記入と同じ要領で、毎日の仕訳を入力します。下は、親類にお年玉をあげたときの仕訳例です。一応「交際費」としました。

--仕訳入力-- (前北°-) (新規登録)			
No0006	日付	2003/01/01	(日)
交際費	現金	¥12000	
▲▼	▲▼		
備考	お年玉3人		

4 財布の中身のチェック

試算表 (全期間) (Ex)		
借方残高	科目	貸方残高
66400	(11)現金	0
0	(12)預金1	12000
118200	(13)預金2	0
0	(39)資本金	221200
22600	(43)通勤費	0
17900	(45)外食費	0
25500	(46)昼食費	0
11400	(48)書籍費	0↓
313,200	合計	313,200
当期純損失 48,600		(戻る)

ときどき、小遣い帳の残高をチェックします。「試算表」を表示させると、どの時点の各科目の残高が分かります。

多分、「現金」は、残高と財布の中身と異なることが多いと思います。記入忘れが原因ですが、まあ、アバウトで良いと思います。キッチリ記録しようと思うと長続きしません。適当なところで、「その他支出」等の科目を使って調整します。

5 1か月の収支をチェック

試算表を表示させ、表示期間を指定すると1か月ごとの収支の合計を知ることができます。

試算表 (全期間) (Ex)		
借方残高	科目	貸方残高
66400	(11)現金	0
0	(12)預金1	12000
118200	(13)預金2	0
0	(39)資本金	221200

試算表 (2003/01) (Ex)		
借方合計	科目	貸方合計
155000	(11)現金	57100
78000	(12)預金1	90000
127000	(13)預金2	0
0	(30)セゾン	8800
0	(39)資本金	221200
22600	(43)通勤費	0
500	(46)昼食費	0
12000	(50)交際費	0↓
417,100	合計	417,100
当月純損失 17,100		(戻る)

2003年1月の収支を表示させた例。